



明治大学校友会 日野地域支部 会報

第 27 号(令和 6 年冬号)



2024 年 12 月 31 日発行

日野地域支部広報担当

令和 6 年冬号をお届け致します。

今年も秋らしい季節は束の間で、冬モードを迎えました。皆様お変わりありませんでしょうか。さて、「会報第 27 号 (冬号)」を発行いたしましたので、お届けいたします。

■2024 年度後期イベント報告

日野地域支部・多摩支部・近隣地域支部主催行事、ご参加いただきありがとうございました、

■ブルベリー摘み 2024 年 8 月 3 日(土)
お天気にも恵まれたたくさん摘み取りました。



百草増嶋果樹園にて

■ディスクゴルフ大会 2024 年 11 月 2 日(土)
立川昭和記念公園内のコースで行いました。



国立地域支部からも 3 名ご参加していただきました。
18 ホールすべて回ることができ、心地よい運動でした。

■国立地域支部講演会 2024 年 9 月 1 日(土)
講師は、「虎に翼」の法律考証をされている法学部の村上一博教授講演のテーマは「日本初の女性弁護士三淵嘉子と女性教育の歴史に迫る」で、朝ドラの収録が前日(8 月 31 日)にクランクアップし、熱気冷めやらぬ撮影現場のエピソードも交えて明治大学での女子法曹教育の歴史についてわかりやすくお話しただけました。(日野地域支部協賛)

■全国校友香川大会 2024 年 9 月 29 日(日)
全国から約 800 名の校友が集まりました。



多摩支部からの参加者の集合写真です。

■箱根駅伝予選会 2024 年 10 月 19 日(土)
予選通過はなりませんでした、学生選抜チームに商学部 4 年の溝上稜斗君がエントリーされました。(多摩支部主催)

■多摩支部主催ゴルフ大会 10 月 21 日(月)



日野地域支部から荻原さんが参加しました

■大宮鉄道博物館見学 2024 年 11 月 9 日(土)



大人の社会科見学
今回は大宮鉄道博物館です。

■21 地域支部を知ろう！(日野) 11 月 17 日(日)



J R 日野駅から甲州街道の旧跡をたどり新選組の息吹を感じながら約 4~5 km の概ね平坦なルートを、休憩をはさみながら歩きました。
(多摩支部主催)

■大学ラグビー対抗戦 2024 年 12 月 1 日(日)
(多摩支部主催) 多摩支部からは 140 名が応援。



NHK 実況放送で日野の皆さんも映っていました。

■明治大学発祥の地記念碑について これであなとも明大博士！身近に存在する母校の歴史を紹介！

【明治大学発祥の地記念碑】

明治法律学校（後の明治大学）は岸本辰雄、宮城浩蔵、矢代操の三人の創立者によって1881（明治14）年1月17日、麹町区の数寄屋橋の一角（現在の有楽町・数寄屋橋交差点近く）、旧島原藩上屋敷跡に開校しました。発祥の地記念碑は、明治大学の建学の精神を顕彰し、教育の近代化の道標を明らかにしようと1995年11月2日、東京・有楽町（千代田区有楽町二丁目）に建立しました。



【なぜ明治法律学校は有楽町数寄屋橋に校舎を構えたのか？】

そもそも明治法律学校の開校は、1880（明治13）年11月中旬、法律学校・講法学舎の運営に不満を持つ学生10数名が同校を退校し、同校講師であったのちの明治法律学校創立者宮城浩蔵、岸本辰雄、矢代操に、新たな法律学校の設立を願ったことに端を発します。

学生たちは講法学舎で事務を執っていた斎藤孝治（1856-1917 弁護士、のち東京府議会議長等歴任）に新しい法律学校の教場探しを依頼しました。ほどなく斎藤は、数寄屋橋のたもとにある有楽町3丁目1番地旧島原藩上屋敷を見つけ出し、その一部を法律学校の教場として借りることにしました。旧藩邸のうち借りた部分の面積はおよそ373坪、建坪は約315坪で、家賃は月50円でした。

旧大名屋敷を借りることにしたのは、広さと立地を考慮したものと推測されます。学生多数を屋内に収容して授業を行うには、ある程度の広い空間が必要となります。当時その条件を満たす施設は寺社や旧武家屋敷に限られていました。大広間のある大名屋敷は教室に転用するにはうってつけだったといえるでしょう。

またこの屋敷が、創立者たちをはじめとする講師にとっては、当時丸ノ内にあった司法省などの官庁街や神田・本郷の教育機関に比較的近距離だったことも好都合であったと考えられます。創立期の講師たちはいずれも専任の教員ではなく、日中は官庁や大学で別の仕事を持っていたためです。

こうして1881（明治14）年1月、明治法律学校はスタートを切りました。開校時の入学生は44名、そのうち講法学社出身の学生は17、8名であったといえます。

【「数寄屋橋キャンパス」のようす】

島原藩上屋敷の図面研究の成果や（後藤・伊東編『近世建築指図の総合的研究』第1・2巻、2011・2012）、初期卒業生の証言や当時の地図も参照しながらキャンパスの様子を再現してみましょう。

数寄屋橋に面した約4000坪の広大な屋敷地南面は外濠川が流れていました。北側の通りに面して黒い板塀が張り巡らされ、板塀に沿って数棟の長屋建物がありません。これはかつて島原藩家臣が住んでいた長屋でした。明治法律学校が屋敷を借用してからは、学生の寄宿舎として使用したと推定されています。敷地の北西側に大きな門があり、そこから邸内に入ります。通学生は屋敷の玄関で履物を脱ぎ、室内履きの草履に履き替えます。玄関脇の壁には学生一人ひとりの氏名が書いてある木札がかかっていた。玄関を抜けると、畳敷きの広間があり、さらに奥に進むとかつて大名の居室だったスペースに到着します。

正確な場所は不明ですが、そのうちの「奥書院」にあたる横長の広間を教場に見立てたようです。畳敷きの広間を上げて素板にし、さらに素板の上に学生の座る腰掛けを置き、高さ1尺（約30センチメートル）、幅6尺（約1.8メートル）程度の講師用教壇と、同じく講師用に1脚の椅子をしつらえ教場としました。こうして明治法律学校は簡素ながら最初の教場を持つことができました。

書院造りの屋敷南面には池がありました。池には冬になると氷が張り、東北出身の学生は授業の合間に息抜きとしてスケートを楽しむこともあったといえます。

【現在地への再移転（1911・明治41年）】

移転した南甲賀町校舎は、初年度から座席が足りず学生が立って授業を受けざるをえないほどの盛況（『明治法律学校二十年史』）であったといえます。学生数も一気に増加し、前年より600名あまりも多い1262名となりました。このように拡大する学校の規模に合わせるため、校舎の改築が行われ、施設規模も増していきました。

1903（明治36）年、明治法律学校は専門学校令に基づく「明治大学」に改称しました。この時期を境として、南甲賀町校舎はいよいよ手狭になり、もはや増築では追いつかない状況になりました。1896（明治29）年、猿楽町に第二寄宿舎を新設するとともに元神田中学校校舎を購入して錦町分校としました。その後も南甲賀町校舎の増築を図るなど、これまでの施設では収容しきれない学生たちのスペースの確保が行われました。しかし本校と分校がバラバラに存在することは非常に不便でした。

1910（明治43）年、明治大学は高等研究科・法・政・商・予科あわせて約3400名、その他高等予備校534名、簡易商業学校258名という膨大な学生を抱えるに至っていました。このようなときに、駿河台南甲賀町14・15・16番地（現駿河台一丁目。明治大学リパティタワーおよびアカデミーコモン付近）の旧小松宮邸約3800坪を借りる見通しが立ったことは、大学関係者にとってまさに「一大光明」（『明治大学学報』1910年）でした。

早速大学はこの土地を借用し、新校舎の建築工事に入りました。そして着工から1年後の1911（明治44）年10月14日、移転新築した駿河台キャンパスで、明治大学創立30周年記念及び校舎新築落成移転式が盛大に挙行されました。

キャンパス内の延建坪は2300坪、建築中も含めるとキャンパス内の建物は10棟におよびました。有楽町数寄屋橋での創立から30年目に至り、明治大学は現在の駿河台キャンパスの地に移転したのです。

【明治大学トピックス】

■明治大学が山の上ホテルの歴史的建築物を継承

このたび、学校法人明治大学（以下、「本学」という。）は、数多くの文豪が利用したことで知られる「山の上ホテル」が建設されている土地及び建物を、本年11月15日付で取得いたしました。

2031(令和13)年に本学は創立150周年を迎えます。その記念事業の一環として、本不動産を取得し再整備を実施します。現状の外観を維持したまま必要な改修工事を施したうえで、専門業者と連携しホテル機能を継続させるとともに、学生支援、地域連携、社会連携の機能としても利活用ができるよう検討しており、本学の新たなシンボルとして継承していきます。

山の上ホテルの歴史と本学とのつながり

山の上ホテルは、1937(昭和12)年に米国の建築家であるヴォーリズ(William Merrell Vories)氏の設計により、本学の校友であり本学専門部女子部校舎建設も支援された佐藤慶太郎氏(1890(明治23)年卒業)の寄付を基に、当時の生活困窮者の生活改善などを目的に全国的規模で展開した「大日本生活協会」の本部として「佐藤新興生活館」という名称で建設された建物が始まりです。戦時中は旧海軍、戦後はGHQに接收されWAC(米国婦人陸軍部隊)の宿舎として使用され、その後返還されて、1954(昭和29)年1月から山の上ホテルとなりました。)

(出典：明治大学プレスリリース 11/15 より)



山の上ホテル正面

ホール内階段

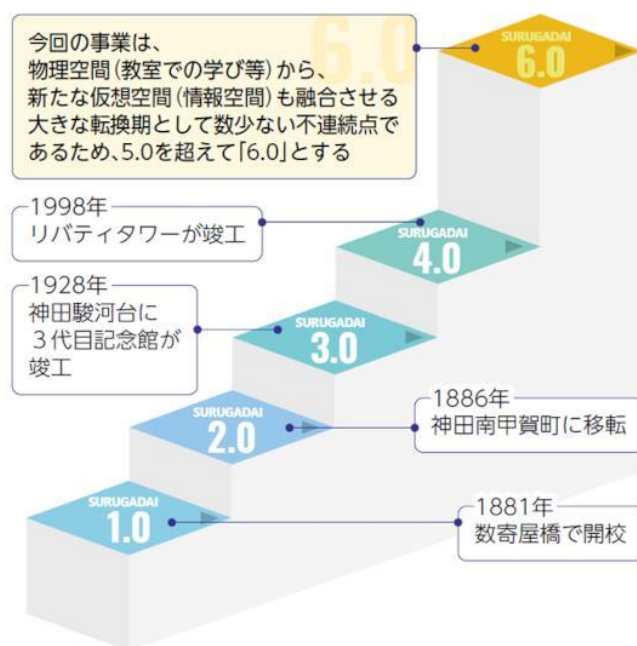


(写真：江面 2024/1/27 撮影)

■駿河台キャンパス総合施設整備計画

明治大学創立150周年記念事業の一環として駿河台キャンパス総合施設整備計画「SURUGADAI 6.0」が始動～中野キャンパスの全機関が約10年後に駿河台キャンパスに統合～

学校法人明治大学（以下、「本学」という。）では、これまで駿河台キャンパスの老朽化した施設を順次建て替えるための「駿河台キャンパス総合施設整備計画」を検討してまいりました。このたび、同計画の基本構想について決定し、今後は同計画に基づく施設整備の具体化を進めていくこととなりましたので、お知らせいたします。



ポイント

- 創立150周年事業の主軸となる大規模施設整備計画「SURUGADAI 6.0」
- コンセプトは「物理空間と仮想空間を融合させた新しいキャンパスを創る」
- 約10年後に中野キャンパスの全機関が駿河台キャンパスに統合

本計画は、2031年の本学創立150周年に向けて明治大学のあるべき姿を定めた「MEIJI VISION 150 - 前へ -」における施設整備計画の重点目標として位置付けられています。駿河台キャンパスの猿樂町地区(旧付属明治中学校・高等学校跡地)にある多数の老朽化した校舎を中心に、駿河台キャンパス全体に及ぶ施設の建て替えと改修を工事開始年度から14年の期間をかけて行う長期的な施設整備事業です。

(出典：明治大学プレスリリース 12/16 より)

【番外イベント報告及びお知らせ】

■多摩支部主催「虎に翼」関連行事 小田原甘柑荘見学 9月6日(金)



小平地域支部長の小出さんと一緒に訪問しました。(江面)

■多摩支部主催「紅葉の高尾山に登ろう！」 11月28日(木)



■国立地域支部主催「餅つき大会」(収穫祭) 12月15日(日) 於：国立城山さとのいえ

日野地域支部でも毎年数名が参加していましたが、今年で最後と云うことで、臼井さんと一緒に参加しました。(江面)



【日野地域支部予定】

- 新春七福神巡り 2025年1月4日(土)
- 新年会 高幡不動「開運そば」1月12日(日)

【校友会東京都5支部共催行事】

- 明治大学発祥の地記念碑祭 1月26日(日)
- 明治大学アカデミーコモン2階
- 講演会 11:00~12:35 懇親会 13:00~15:00

■同好会だより



書道同好会 参加者募集のお知らせ

書道を楽しく学んでみませんか。書道には興味があるが、教室へ通う機会がなかった、もう少し自分らしい字、正しい字を書きたい等思ったことはありませんか？

日野地域支部では初心者からも始められる書道同好会を立ち上げました。ご指導は日野地域支部会員でもある書道師範 森本敏子さんです。校友会間の懇親をベースに、書道を学んでみましょう。漢字、かな、硬筆、やりたいことから始めましょう。

日野地域支部初めての同好会です。皆様の参加をお待ちしています。

参加ご希望の方は小山までご連絡下さい。

連絡先(小山): メール: a.koyama@meijikoyukaihino.sakura.ne.jp



第61回明治大学全国校友福井大会 予告
「幸福度日本一」福井で会おう

事務局より

日野地域支部へのご意見・ご要望、その他投稿記事は以下事務局までお知らせください。

〒191-0011 東京都日野市日野本町4-18-10 (小川方)

明治大学校友会日野地域支部事務局 宛て

hinoshibu-info@meijikoyukaihino.sakura.ne.jp

明治はひとつ！

校友の皆様、母校のご支援・校友会活動にご協力
よろしくお願い申し上げます。

LINE「明治大学校友会日野」グループを作成
いたしました。招待いたします。

https://line.me/ti/g/IH_nQuXezd

